

不正確な OUI による問題の検出および正しい STB およびケーブルカードサイン

目次

[概要](#)

[履歴](#)

[定義およびレコード形式](#)

[問題を確認し、エクステントを確認して下さい](#)

[改善処置](#)

[Recovery](#)

概要

この資料はデジタル視聴覚対話型議会 (DAVIC ことを) セット トップ ボックスがエクスプローラ コントローラ (EC) への双方向接続をまたは Digital Network Control System (DNCS) 確立することを防ぐ条件を記述したものです (DNCS)。失敗の原因はデバイスがシステムに最初に追加されたときにデータベースにロードされる不正確な データです。この技術情報詳細は状態を検知する方法をデータを訂正するために奪取 することができる是正措置を提供し。これはボックスを取り替える必要を省き、プラットフォームから期待する双方向機能でエンドユーザを提供します。

履歴

顧客は dncsLog のこのエラーを報告しました:

ソフトウェア リリース 6.0.0.18p6

```
2 25 04:45:11 dncs hctmConfig[9339]: [ID 295187 local7.error] 02/25/2015
04:45:11.951|9339/6|ERROR|hctmConfig:HctmConfigReqRequest.C(415)|HctmConfigReqRequest::processRequest 00:21:BE:1E:12:D4 - HctmConfigReqRequest.C:828[HctmConfigException:4409] DHCT - HCT 00:21:BE:1E:12:D4 reqType=[00:02:DE,802,12] dbType= [00:21:BE,802,12]
```

ソフトウェア リリース 4.3

```
2 26 00:02:08 dncs hctmConfig[3312]: [ID 695210 local7.error] 02/26/2015
00:02:08.849|1|ERROR|hctmConfig:HctmConfigReqRequest.C(405)|00:16:92:B7:A4:08 -
[HctmConfigException:4409] DHCT - HCT 00:16:92:B7:A4:08 reqType=[00:02:DE,8300,22] dbType=
[00:1b:d7,8300,22]
```

ソフトウェア リリース 4.2

```
2 26 00:00:41 dncs hctmConfig[18543]: [ID 486462 local7.info] 00:1B:D7:3F:94:7E -
unknown:0[HctmConfigException:4409] DHCT - HCT 00:1B:D7:3F:94:7E reqType=[00:02:DE,802,12]
dbType= [00:1B:D7,802,12]
```

この技術情報詳細この特定の失敗例 (間違った構成上固有の識別番号 (OUI) 固定する方法を) を、しかし一般的なステップはあるものが Protocol Independent Multicast (PIM) からのデータベースに一致する値を示すあらゆるボックスに適用されます。その理由で、デバイスは署名す

ることをミスマッチが防ぐ 3 つのフィールドについての追加詳細は提供されます。

定義およびレコード形式

reqType - uncfg の一部とする DNCS/EC への Device レポートが要求する値。これらの値は製造工程で設定されます。

dbType - 拡張メモリ マネージャー (EMM) tarファイル (別名 PIMS ファイル) でデバイスキーおよび他の基本情報と共に供給される DNCS/EC データベースの値。

レコード形式- [製造業者 ID、モデル、修正]

製造業者 ID - Cisco すべてのセット トップ ボックス (STBs) およびケーブル カードのためのデバイスを構築した会社を代表するユニークな HEX 数。この値は 00:02:DE に一般的に設定されます。

hct_profile 表の **hctt_oui** へのマップ。

モデル-デバイスに割り当てられる型番。

hct_profile 表の **hctt_id** へのマップ。

修正-整数として示されていてしかし有理数としてラベルで報告し、印刷しました。この例では、12 はユニットのラベルで示され、Revision 1.2 は DNCS/EC ユーザインターフェイスで示されています。

hct_profile 表の **hctt_revision** へのマップ。

この並べ替えのエラーはグループが (いくつかのように PIM グループ) referered EMM ファイルを不正確に構築したまたはファクトリが原因でデバイスに不正確な値をプログラムしましたエクスプローラが原因です。

警告 : デバイスの情報がラベルを一致するかまたは EMM tarファイルによって提供される情報が正しいようであるこれはファクトリでミスプログラミングを提案します。適切な企画は Return Material Authorization (RMA) 要求です。ケースのこの型は更に調査される必要があります。

問題を確認し、エクステントを確認して下さい

示されているすべてのコマンドは DNCS/EC のターミナルセッションから DNCS ユーザとして動作します。dbaccess が使用される例では画面で現われると同時に、コマンドは示されています。">" プロンプトはツールによって提供され、入る必要はありません。コマンドをカットアンドペーストする場合「>」文字を含む必要はありません。

チェック 1: ボックスがこの状態によるサイン・オン問題を備えているかどうか参照して下さい。

ソフトウェア リリース 6.0

```
DHCT - HCT /var/log/dnscLog | awk{ $11}' | sort | uniq - c
```

ソフトウェア リリース 4.3

```
DHCT - HCT /var/log/dnscsLog | awk{ $24}' | sort | uniq - c
```

ソフトウェア リリース 4.2

```
DHCT - HCT /var/log/dnscsLog | awk{ $9}' | sort | uniq - c
```

このコマンドの出力は影響を与えられたボックスの回数がそれぞれ DNCS/EC と不運にも登録するように試みたことを示します。

```
149 00:21:BE:7F:F0:61
149 00:21:BE:7F:F2:0E
149 00:21:BE:7F:F3:3B
149 00:21:BE:80:2D:66
149 00:21:BE:80:2E:B2
149 00:21:BE:80:5A:2F
149 00:21:BE:80:F2:C2
```

チェック 2: 何ボックスが影響を与えられるか参照して下さい。

```
dbaccess dnscsdb <<%
>hct_profile * hctt_oui=8638 ;
>%%
```

*

```
1230 {}
```

1

注: 上のクエリの 8638 は OUI 値の整数等量です。hex のエラー 0021BE で、示されている例では 8638 は整数としてであるかどれ。顧客が報告された OUI については別の値を調べる場合、変換整数に評価し、クエリで結果を使用する。

改善処置

警告: デバイスのデバイス一致予期およびラベルによって報告される間違った情報がある情報 DNCS/EC はようであるが DNCS/EC のレコードしか修復しない必要があります。

misprogrammed ようであるボックスからの情報を一致するためにレコード IN を DNCS/EC 固定しないで下さい!

ステップ 1: 悪い OUI のバックアップ現レコード。

```
dbaccess dnscsdb <<%
> - ;
> hct_profile.bak * hct_profile ;
> %%
```

サンプル結果

```
200000      {}
```

ステップ 2：正しい wth OUI 値。

注: この例では、ユニット Cisco が生成する 0002DE Cisco 製造業者 ID である OUI 0021BE のユニットは固定であり、734 に一定、メモリにハードコードしました。STB またはケーブルカードからの示された値が 00:02:DE ではないかまたはデバイスが Cisco によって製造されなかったら適切な値を是正措置が奪取される前に確認するために、追加調査は使用するために実行された必要があります。

方法 1：OUI 値に基づく修正。

```
dbaccess dnscsdb <<%  
> - ;  
> hct_profile hctt_oui=734 hctt_oui 8638685171274513934;  
> %%
```

予想される結果

```
1034      { 1. }
```

方法 2：型番に基づく修正

この問題と発見されたデバイスの大半はケーブルカードです。このソリューションはグループとしてそれらを固定します。

```
dbaccess dnscsdb <<%  
> - ;  
> hct_profile hctt_oui=734 hctt_oui<>734 hctt_id 801,802;  
> %%
```

予想される結果

```
1034  
  
{ 801 802 }
```

Recovery

このプロシージャはした検出する、すぐに使用されればもしことをにおける問題をときだけ使用する必要があります。

```
dbaccess dnscsd <<%  
> - ;  
> * hct_profilie ...;  
  
> hct_profile hct_profile.bak ;  
> %%
```